

## 金沢市で「電波の安全性に関する説明会」を開催

～安全・安心に電波を使っていたくために～

北陸総合通信局（局長：齊藤一雅）は、3月5日（火）、KKRホテル金沢において、「電波の安全性に関する説明会」（後援：金沢市、北陸情報通信協議会）を開催しました。

冒頭、主催者である北陸総合通信局の齊藤一雅局長が挨拶し、続いて、同局の田島久巳無線通信部長が、「電波の安全性に関する総務省の取り組み」と題して、総務省では世界保健機関（WHO）と協調して電波が人体に与える影響の調査・研究を行っており、それらの成果に基づき電波防護指針を策定していること、また、医療機器への影響の防止に関する指針を定めていることなどを説明しました。

引き続き、講師の方々にご登壇いただき、まず、情報通信研究機構電磁環境研究室研究マネージャーの渡辺聡一氏が、「電波防護指針の根拠と測り方」と題して、携帯電話等からの電波に対する人体防護指針の根拠や、携帯電話が防護指針に適合していることを測定する方法等について、説明されました。

続いて、電気安全環境研究所電磁界情報センター所長の大久保千代次氏が、「電波の安全性－WHOからのメッセージ」と題して、携帯電話の電波による健康影響について、WHOの見解を基に、身の周りにおけるリスクと比較して、電磁波の健康リスクをどのように理解すべきなのか等について、説明されました。金沢市民の方々など約80名の参加者があり、電波の安全性に関するアンケートにもご協力いただきました。



齊藤局長の挨拶



渡辺氏の講演



大久保氏の講演